



S.Setoguchi

THE HANSHIN DAISHOTEN

第73回 阪神大賞典 (GII)

1着 2着 3着 4着 5着
 本賞 67,000,000円 27,000,000円 17,000,000円 10,000,000円 6,700,000円
 付加賞 770,000円 220,000円 110,000円



レース映像は
 コチラでご覧
 いただけます。

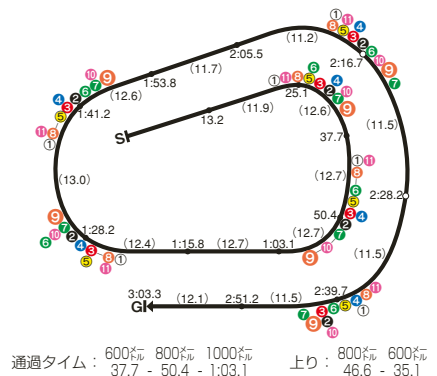
4歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 4歳56^{kg}・5歳以上57^{kg}、牝馬2^{kg}減、2024.3.16以降GⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2^{kg}増、
 牝馬限定GⅠ競走またはGⅡ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1^{kg}増、2024.3.15以前のGⅠ競走(牝馬限定
 競走を除く)1着馬1^{kg}増(ただし2歳時の成績を除く)

2025.3.23 阪神 晴・良 芝3000m (国際) (確定)

着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑨	サンライズアース	牡	4	56	池添謙一	3:03.3	1-1-2-2	35.0	526(-8)	5.7(4)	石坂公一(栗東)	116
2	⑦	マコトヴェリキー	牡	5	57	岩田望来	6	2-2-1-1	36.1	466(-10)	18.9(7)	上村洋行(栗東)	110
3	⑤	ブローザホーン	牡	6	59	菅原明良	½	7-8-8-7	35.5	434(+2)	8.0(5)	吉岡辰弥(栗東)	113
4	①	ショウナンラプンタ	牡	4	56	武 豊	ハナ	11-11-10-8	35.2	542(+2)	2.9(1)	高野友和(栗東)	109
5	②	ヴェローチェエラ	牡	4	56	川田将雅	1¼	5-5-5-3	36.0	500(+4)	4.8(2)	須貝尚介(栗東)	
6	⑥	ゴールドスナップ	牝	5	55	浜中 俊	1¼	2-4-4-6	36.3	464(+6)	8.7(6)	田中克典(栗東)	
7	⑩	ウーブスピード	牡	6	57	横山和生	½	2-2-3-3	36.6	506(-6)	5.4(3)	高木 登(美浦)	
8	⑧	ウインエアフォルク	牡	8	57	古川吉洋	3	9-9-10-10	36.3	480(-6)	248.2(11)	根本康広(美浦)	
9	③	リンフレスカンテ	牡	7	57	松山弘平	5	7-6-6-3	37.7	446(-2)	116.5(9)	宮本 博(栗東)	
10	④	コバノサントス	牡	5	57	田口貴太	1¼	6-6-6-8	37.6	468(+8)	39.9(8)	梅田智之(栗東)	
11	⑪	ウィーブディライト	牝	4	56	鮫島克駿	3¼	9-9-8-11	38.1	496(-4)	48.5(9)	池添 学(栗東)	

単勝⑨570円(4^{kg}) 複勝⑨240円(4^{kg}) ⑦420円(7^{kg}) ⑤300円(6^{kg}) 枠連⑥-⑦2,080円(11^{kg})
 馬連⑦-⑨5,520円(19^{kg}) ワイド⑦-⑨1,540円(19^{kg}) ⑤-⑨1,060円(15^{kg}) ⑤-⑦2,330円(24^{kg})
 馬単⑨-⑦7,860円(32^{kg}) 3連複⑤-⑦-⑨17,050円(49^{kg}) 3連単⑨-⑦-⑤87,640円(253^{kg})



アラカルト

- 池添謙一騎手は阪神大賞典初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算99勝目
- 石坂公一調教師は阪神大賞典初勝利。JRA重賞はイズジョーノキセキで制した22年アイルランドトロフィー府中牝馬Sに続く通算2勝目
- レイデオロ産駒はJRA重賞初勝利
- 4歳馬の勝利は23年ジャスティンパレスに続く通算26回目
- サンライズアースの馬体重526^{kg}は、19年シャケトラの馬体重518^{kg}を更新する本競走優勝馬の最高馬体重記録
- 馬連5,520円は同式別における本競走の最高払戻金額
- サンライズアースは天皇賞(春)(GⅠ)に優先出走できる

サンライズアース *Sunrise Earth*

牡 栗毛 2021.2.6生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・株ライフハウス 栗東・石坂公一厩舎
馬名意味・冠名+地球

ハルーフソングUSA系 F12-c

レイデオロ 鹿毛 2014	キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo マンファスIRE
	ラドラーダ 青鹿毛 2006	シンボリクリスエスUSA レディプロンドUSA
シャンドランジュ 青鹿毛 2013	マンハッタンカフェ 青鹿毛 1998	サンデーサイレンスUSA サトルチェンジIRE
	ハルーフソングUSA 栗毛 1996	Nureyev Morn of Song

5代までのインブリード：Nureyev M3×S5 Mr.Prospector S4×S5
Halo M4×M5

INTERVIEW

田中洋二 厩舎長(ノーザンファーム空港)

天皇賞(春)も楽しみます

隣の育成厩舎で兄のセラフィックコールも見ていたのですが、兄と同じように元気な馬だと思っただけでなく、大柄な馬体を感じさせないぐらい俊敏な動きをしていました。夏負けの影響で復帰までに時間を要しましたが、前走の早春S(2着)を見た時に復活の兆しが感じられたので、このメンバーでも勝ち負けのレースを期待していました。天皇賞(春)も楽しみです。



S.Naka

隣の育成厩舎で兄のセラフィックコールも見ていたのですが、兄と同じように元気な馬だと思っただけでなく、大柄な馬体を感じさせないぐらい俊敏な動きをしていました。夏負けの影響で復帰までに時間を要しましたが、前走の早春S(2着)を見た時に復活の兆しが感じられたので、このメンバーでも勝ち負けのレースを期待していました。天皇賞(春)も楽しみです。

芝3000mの別定GⅡ・阪神大賞典は、春の天皇賞を目指すトップクラスが本番前のステップに選ぶレースが多いこともあり、格上挑戦で臨んできた馬の勝利は1990年のオースミシヤダイを最後に途絶えていた。しかし今年は前走の3勝クラス特別で2着に敗れていたサンライズアースがレースの脚光を独占。1番人気に支持された菊花賞の4着馬シヨウナンラブンをはじめ、実績上位の面々を持ち前のスタミナで圧倒して35年ぶりの快挙を成し遂げた。

確たる逃げ馬が不在とあって、スタート直後はお互いの出方を窺い合うように進んだ先行勢から、サンライズアースと池添謙一騎手のコンビが飛び出して先手を奪取、落ち着いたラップを刻みながら風を切る。3番人気に支持された前年の2着馬ワフブスピードが2番手につけ、2番人気のヴェロチエエラは中団を追走。シヨウナンラブンは比較的凝縮した馬群の最後方で折り合いに専念した。

レースが動いたのは残り1000m地点。3番手を追走してきたマコトヴェエリーキーが、サンライズアースを内からかわして主導権を握る。いったん2番手に控えた池添騎手は3コーナー過ぎから早めに反撃し、再び前に並びかけて直線へ。残り300m地点で先頭へ抜け出してからは独走となり、息の長い末脚を發揮したサンライズアースが、2着に粘り込んだマコトヴェエリーキーに6馬身差をつけてワンサイドの勝利を飾った。

当日の馬体重が526kg。レースの最高体重優勝記録(従来の最高は2019年シャケトラの518kg)も塗り替えた本馬は、昨年のダービーで後方からまくって見せ場をつくり、4着に食い込んだ実績を持つ。復帰戦の日経新春杯はハイペースに巻き込まれて16着に大敗、続く自己条件も勝ち馬の決め手に屈したが、この日は身上的スタミナを存分に發揮。父レイデオロに産駒初のJRA重賞制覇を贈った巨漢のステイヤーが一躍、長距離王決定戦の有力候補に名乗りをあげた。

父レイデオロ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央、首17戦7勝(日本ダービー^{GⅠ}、天皇賞(秋)^{GⅠ}、オールカマー^{GⅡ}、神戸新聞杯^{GⅡ}、ホープフルS^{GⅡ}、ジャパンC^{GⅠ} 2着、有馬記念^{GⅠ} 2着)、最優秀3歳牡馬、最優秀4歳以上牡馬、20年から供用〔代表産駒〕サンライズアース(本馬)、トロヴァトーレ(ニューイヤース・L、キャピタルS・L 2着)、ミナデオロ(白百合S・L)、ウォーターガーベラ(チューリップ賞^{GⅡ} 2着、シンザン記念^{GⅢ} 3着)、カラマティアノス(共同通信杯^{GⅢ} 2着)、アドマイヤテラ(菊花賞^{GⅠ} 3着)、ボンヌソフレ(フィリーズレビュー^{GⅢ} 3着)、ジュンライデン(萩S・L 3着)

母シャンドランジュ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央3戦0勝、地方2戦0勝

エリカボンシヤン(18 牝父ロードカナロア)不出走
セラフィックコール(20 牝父ヘニーヒューズUSA)中央7戦5勝(みやこS^{GⅢ}、JRAアニバーサリーS、八王子特別)、地方4戦2勝(ダイオライト記念^{IⅡ} 2回) 〇

サンライズアース 本馬(21 牝父レイデオロ)中央7戦3勝(阪神大賞典^{GⅡ}、すみれS・L、日本ダービー^{GⅠ} 4着) 獲得総賞金147,687,000円

テリオスララ(22 牝父シスキンUSA)中央4戦2勝(萩S・L、阪神ジュベナイルフィリーズ^{GⅠ} 3着) 〇

※19(前年種付せず)、23、24(流産)

祖母ハルーフソングUSA

不出走。01年輸入、20年用途変更

ハルーフスウィート(01 牝父Machiavellian)持込、中央5勝、ヴィブロス(秋華賞^{GⅠ}、ドバイターフ^{GⅠ})、シュヴァルグラン(ジャパンC^{GⅠ})、ヴィルシーナ(ヴィクトリアマイル^{GⅠ} 2回)の母、ディヴィーナ(アイルランドトロフィー府中牝馬S^{GⅡ})、ブラヴァス(新潟記念^{GⅢ})の祖母

フレールジャック(08 牝父ディーブインバクト)中央4勝(ラジオNIKKEI賞^{GⅢ}、西宮S、ニューイヤース^{GⅡ} 2着、神戸新聞杯^{GⅢ} 3着)

マーティンボロ(09 牝父ディーブインバクト)中央7勝(新潟記念^{GⅢ}、中日新聞杯^{GⅢ}、飛鳥S、小倉記念^{GⅢ} 2着)、種牡馬、17年輸出(仏)

ベルディエヴァ(12 牝父ダイワメジャー)中央3勝(麒麟特別、淀短距離S^{GⅡ} 3着)

シャンドランジュ(13 前出)

ラブソディアー(14 牝父ディーブプリランテ)中央3勝(小豆島特別、白藤賞) スペードエース(17 牝父ワールドエース)中央2勝(アルメリア賞)

身上的スタミナを武器に6馬身差の圧勝